



こめのやま

2016年1月1日

No.73

発行責任者／伊見 万弓



3月1日オープンの新病院



新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。
新しい年が明け、皆様にはどのように新年をお迎
えでしょうか。

私も米の山病院が無事新年を迎えることが出来
ましたのも、ひとえに皆様のご支援の賜物と感謝す
る次第です。

昨年は戦後70年という節目の年の中で、戦争法案
の強行採決や沖繩辺野古の新基地建設強行など安倍
内閣の暴走により、戦後最悪の年になりました。私
たちはこれらの暴挙に対して昨年引き続き今年も
しっかり戦ってゆく所存です。

さて、昨年末待ちに待った「新米の山病院」が立ち
上がりました。昨年より徐々にその姿を見せていま
したが、完成してみるとその威風堂々とした姿に改
めて感動しているのは、私だけではないと思います。
最近の医療情勢は非常に厳しく、四苦八苦の毎日
ですが、この新しい米の山病院を基点に心も新たに
して患者様、地域の皆様のために職員一同さらに努
力していく所存です。

本年が皆様にとって良い年でありますように祈念
して、新年のご挨拶とさせていただきます。

院長 後藤 良三

医療法人 親仁会

米の山病院



日本医療機能評価機構認定病院
臨床研修指定病院

福岡県産業医学協議会長賞受賞



11月11日、田川郡大任町総合福祉センター「レインボーホール」にて第43回福岡県産業医学大会が開催されました。

当院の橋口俊則医師が、大牟田医師会の推薦で、福岡県産業医学協議会長賞を受賞し、表彰されました。

産業医とは各企業の従業員の健康管理を行う医師のことです。この賞は長年の産業医活動の功績が認められたものです。労働者の健康管理を巡っては、ストレスチェック制度が導入されるなど、今後ますます産業医の活動が注目されています。

引き続き、院内だけでなく、地域でも活発に活動をしていきたいと思っています。

医局事務次長 中西 倫仁

ゆめタウンで健康チェック



11月21日ゆめタウンで恒例の健康チェックが行われました。

広報おおむたに掲載されたことや、ゆめタウンイベントがあったためお客さんも多く、スタッフの熱心な呼び込みで122名の方が健康チェックを受けられ、その場で会員拡大が1件ありました！医局からも副院長の崎山先生、研修医の岩崎先生が健康相談を担当。

医学生3名や友の会からも支部長や班長が3名応援にかけつけ、総勢37名のスタッフで2時間頑張りました。

お客さんからは「無料でいろいろな受けれてよかった」「親切に案内してもらって嬉しかった！」との声も寄せられました。

早くも次回開催の期待も寄せられており、これからも地域の健康づくり活動をいろいろ企画していきたいと思っています。

共同組織課

研修医ニュース⑪

毎年、全国の民医連病院から1〜5年目の研修医が集まり、さまざまなテーマに沿って発表を行っています。今年は、全国から60演題近くの発表が集まり、米の山病院からは2年目研修医の岩崎貴士先生（写真上）と後藤俊作先生（写真下）が発表を行いました。

テーマは、岩崎先生が「初期研修における外部病院研修の意義」、後藤先生が「地域医療研修で何を学ぶべきか」です。

今回の発表の中で、2年間の初期研修をより学び多いものにするために、研修で何が必要なのかを考え、発表することができたと思います。

岩崎先生と後藤先生からは、「多くの人の前での発表は緊張した。事前の準備ができていたので、うまく発表することができてよかった」との感想ができました。

医師研修課 西浦はるか



クリスマス会



12月6日に、ひまわりの会・小見りハビリ共催でのクリスマス会を開催しました。

毎年行っているクリスマス会ですが、今年のクリスマス会は、①パネルシアター、②みんなで楽器作り・演奏会、③連想ゲーム、④サンタさんからのプレゼント、という流れで行いました。

①のパネルシアターは今年初めての試みで、熊本大学人形劇サークル「青い鳥」の大学生の方々にお願いいただき、クリスマスについてのお話を上演して頂きました。パネルシアターの他にも、手遊び歌や簡単なゲームなども教えて頂き、子ども達も興味津々で、楽しく観ることができていました。

②の楽器作りでは、空のペットボトルにビーズや鈴などを入れて、周りをシールなどでデコレーションしてマラカスを作りました。みんなとても真剣に取り組むことが

出来ていて、出来上がったマラカスを使い、音楽に合わせてみんなで歌を歌いました。

③の連想ゲームでは、色や形などから思いつくものを答えたり、隠してあるプレゼント交換券をみんなを探して元気に楽しく過ごしました。そして見つけた交換券を渡し、サンタさんからプレゼントをもらいました。

2時間程度のクリスマス会でしたが、普段小児科やリハビリ室では見ることが出来ない表情が見られたり、初めて会うボランティアの方と楽しく過ごすことが出来ました。また、いつもと違う雰囲気の中で楽しむことが難しかったお子さんも、最後にはみんなと楽しく過ごせ、さらに成長した姿を見ることが出来ました。また来年以降も皆さんと楽しい時間を過ごせたらと考えています。

リハビリテーション科 福岡千浩



職場紹介 医事課外来



皆さん、こんにちは。今回、医事課外来をご紹介させていただきます。岡崎香織と申します。

私は、9月16日付けで入職致しました。医事課外来では、受付対応・電話対応・会計窓口・レセプト作成等の業務がありますが、細かくみると様々な業務があります。

受付は「医療機関の顔」と言われるほど第一印象が決まる大切な場所です。

私自身、初めての医事課勤務で戸惑う事もありますが、今後も柔らかい対応を心掛け、患者様が安心して通える場所を皆さんと目指していきたいと思えます。

今後も医事課外来をよろしくお願ひ致します。

医事課外来 岡崎香織

米の山病院

理念と基本方針

理念

わたしたちは、患者の権利を守り、安全・安心・信頼の医療・福祉の実現に全力を尽くします。

基本方針

1. 地域にやさしい病院づくりをめざします。

高齢化が著しく進む有明地域において、必要な医療・介護が提供できる病院をめざします。また、差額ベッド料などの差額は徴収しません。

2. 医療の安全性を追求します。

患者・地域住民が、「安心して受診できる」「信頼できる」病院をめざします。

3. 医療機関・施設、地域との連携を推進します。

医療機関・施設との連携をはじめ、友の会と共に地域全体で患者をみていく「地域完結型」の医療・福祉をめざします。また、平和を守ることや社会保障制度を改善していく取り組みなども広めていきます。

4. 臨床研修病院としての役割を発揮します。

医師をはじめとした医療従事者を確保し、地域に貢献できる医療人を育成します。

鶏レバーのふろふき大根



材 料 (4人分)

- ・大根……………2cm厚4枚
- ・水、出し昆布……………適量
- ・薄口醤油、みりん……………各50cc(水量で加減する)
- ・塩……………少々
- ・鶏レバー……………200g
- ・砂糖……………20g
- ・酒……………20cc
- ・みりん……………40cc
- ・生姜……………少々【しぼり汁】
- ・水……………ひたひた



調理師
高田 昭一

作り方

- ①大根は2cm厚で皮を厚めにむき面取りし、隠し包丁をいれ、20分くらい下茹でする。(できれば米の研ぎ汁で茹でする。)
- ②鶏レバーをよく水洗いして、たっぷりの水で下茹でする。(水から茹ですると灰汁が良く抜けません。)ザルにあげ、鍋にレバーと水をひたひたにし、醤油・砂糖・生姜を入れ水分がなくなるくらいまで焦がさないように煮込み、仕上げに生姜汁とみりんを入れ、照りを出す。
- ③下茹でした大根に水をはり、出し昆布と調味料を加え、落とし蓋をして弱火で20分程度煮込む。
- ④器に大根を盛りレバーを乗せてレバーの煮汁を適量かけて完成です。

ワンポイント

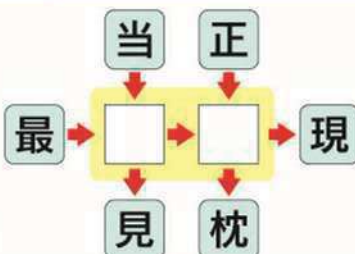
- ・時間がないときには、大根を乱切りにすると時間短縮できます。また、おでんの残りでもいいと思います。
- ・大根を薄味にし、レバーを甘辛くて濃い味にした方が味のバランスが良いと思います。



クイズ 頭の体操

問題

それぞれの矢印の向きに2字熟語ができるように真ん中の2マスに漢字を入れてください。



No.72(11月1日号)の答えは **9+8=1** でした。

ご応募ありがとうございました。

当選者は商品の発送をもって代えさせていただきます。

応募のしかた

答えを紙(ハガキ)に書いて、送っていただくか受付までお持ち下さい。FAXでも可。切は2016年2月10日。

機関紙や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

読者の声

☆毎回クイズを楽しみにしています。頭の体操になります。(Yさん)

☆さつまいも饅頭を作りました。甘さがほどよく、おいしかったです。(Kさん)

皆様からのお便り
ありがとうございました。



夜間小児当番医のお知らせ

夜間小児当番医 (19:00~22:00)

1月9日、1月23日、2月6日、2月13日

携帯ページはこちらから



アクセスは <http://www.kome-net.or.jp/m/>
または QRコードからどうぞ

新病院建設ニュース vol.20



建物が完成

新病院建設準備室 室長:内田 雅仁

新年、明けましておめでとうございます。昨年に引き続き今年もよろしくお願ひ致します。
2014年9月より一年半が経過し、ついに新病院が完成いたしました。病院の引き渡しは1月15日を予定しており、現在、最後の工事や検査が行われております。これから、3月1日開院に向け準備を進めて行く予定です。引っ越しの際は、みなさまにご迷惑をおかけすると思ひますが、何卒よろしくお願ひいたします。2月21日には内覧会及び完成祝賀会を予定しています。また、友の会のみなさまには班会等で病院見学を計画していきたくと思ひております。

11月に足場が外れ建物全体が明らかになってからは、たくさんの方から期待の声が寄せられています。職員一同、地域の皆様方が安心して住み続けられるよう、医療をはじめ医療を取り巻く情勢にも目を向け活動していきたくと思ひます。



図1. 外来待合室



図2. スタッフステーションカウンター

新病院になったら
「命の平等を貫き、地域から頼れる存在へ」

事務長：伊見 万弓



新年明けましておめでとうございます。

新年の幕開けにふさわしく、1月はいよいよ新しい病院の引き渡しが行われます。

新病院は、職員のみならず、患者・友の会・地域住民の皆様からのご意見を取り入れながら進めてきました。

新病院では、病気の時だけでなく、地域のコミュニティの場として、友の会の部屋を活用していただければ幸いです。

米の山病院の基本方針として「地域にやさしい病院づくりをめざします」とあり、差額ベッド料金を徴収しないことを明記しています。

新病院になってもそこは変わらず、命の平等を貫き、地域から頼れる存在となるよう邁進します。

今後ともご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



建物の内部も急ピッチで確認作業を進めています

これまで何度となく図面上で打ち合わせをおこなってきましたが、現在は図面上の寸法と実際に出来上がった空間に立っての確認を頻繁におこなっています。

- 十分なスペースは取れているか…
- ストレッチャーなどの往来は無理なくできるか…
- 作業スペースとして十分だろうか…
- 患者さんの見守りは十分できる構造になっているか…

主任以上は気掛かりの様子で、支障があれば入れる什器や業務内容を調整します。実際に現場確認をした職員は、「イメージがわいた」などの感想が聞かれました。



事前に準備した図面と虎の巻とにらめっこしながら、患者さんの導線と自分たちの動きを現場でシミュレーション。

準備室も患者さんに案内するサインサンプルを予定の場所に貼ってみて、文字の大きさや配置、サイン自体の位置を調整しています。



準備室長自ら立ってみて、どれどれ…
「なかなかいいじゃないですか。設計どおりですね。」



「案内する数字の文字は大きく」との意見で大きくしましたが、貼ってみると、大きすぎだったりもします。



病室前の部屋名サインとネームプレート。見舞い客にわかりやすいかを検証しています。

おめおめ
つらら



たくさんの知恵で
利用しやすい病院に

新病院建設にあたり、職員で構成する「病院建設プロジェクト」外部の方たちから構成する「病院建設委員会」があります。

この「病院建設委員会」は、患者目線で・利用する側からの意見を“という性格の委員会です。

この委員会からの意見はとても貴重なものとなります。

例えば、飲料の自動販売機はペットボトルやカンを私たち職員は当たり前のように自然に選んでいましたが、「カンのプルタブやペットボトルは開けにくい。ワンコインで買えないとダメ」などの意見も貴重なものとなります。
人生の先輩方から沢山の知恵を拝借し、不自由なく使える病院としていかなくはなりません。

新病院建設準備室

☎ 5312711